

## 第1水辺公園（リバーサイドパークーの谷）の管理運営の状況について

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	第1水辺公園（リバーサイドパークーの谷）
	所在地	あきる野市引田776番地
	所管課	環境経済部商工観光課観光推進係（内線）2533
指定管理者	名称	あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市二宮350番地 商工観光課内
	業務内容	①施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 ②環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 ③施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 ④施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL	<a href="https://www.akirunokanko.com/?p=3975">https://www.akirunokanko.com/?p=3975</a>	
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	

### 2 施設の利用状況等について

項目	（平成17年度）	平成18年度	平成19年度
利用者数（人）	約 5,300	約 5,000	約 6,000
前年度比（人）		△300	1,000
前年度比（%）		94.3	120.0
利用料金収入（円）	4,507,260	4,047,500	4,277,750
前年度比（円）		△459,760	230,250
前年度比（%）		89.8	105.7

### 3 施設の収支状況について

(単位：円)

項 目		平成18年度	平成19年度
収 入	指定管理料	0	0
	利用料金	3,043,200	3,191,450
	その他の収入	1,004,300	1,086,300
	計	4,047,500	4,277,750
支 出	維持管理経費	289,717	1,709,828
	人件費	1,457,115	1,478,456
	その他	2,128,371	3,989,436
	市への納付金等	0	0
	計	3,875,203	7,177,720
収支合計		172,297	△2,899,970

### 4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
閉園時間の延長の意見がある。	学校の夏休み期間中は営業時間の延長を検討している。
併設の公衆トイレについて、バリアフリーになっていない。また、洋式ではないことに苦情がある。	階段が急であること、また、すべての便器が和式であることを丁重にお断りしている。
大型バスが乗り入れることができない。	東京サマーランドに協力をいただき、臨時駐車場として停めてもらっている。

### 5 利用者満足度の把握について

把握方法	器具の返却時、ゴミの受入れ及び退園時等に声をかけ、利用者の意見を聞いている。
調査結果	器具等がすべてレンタルで片付けが楽であることから、利用者からは大変喜ばれている。また、利用者の多くはリピーターである。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
包丁、トング、箸、軍手等利用者の必要に応じて無料で貸し出しを行っている。	食材を用意するだけでバーベキューが楽しめる場所であることを印象付けることができ、リピーターの増加につながった。
バーベキュー場の宣伝媒体に割引クーポン券を掲載し、利用者へのサービスを実施している。	平成19年度においては、リバーサイドパーク一の谷での利用はなかったが、施設のPRも兼ね、今後も継続する予定である。
利用者に対して常に感謝の気持ちを持って、業務に取り組んでいる。	リピーターの増加につながっている。

7 総合評価

<p>指定管理者の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価）</p>
<p>平成19年度においては、9月に発生した台風9号の影響によりしばらくの間開園できず、利用者に多大な迷惑がかかってしまった。天災による被害はやむを得ないが、復旧作業を短期間で終了し、早期に開園するよう対処する必要がある。</p> <p>また、利用者の激減による売上の減少、場内整備費用の発生、加えて常設テントの補充及び補修といった経費が支出された中で、日ごろから経費削減を徹底しているが、調理場及び洗い場の水漏れ防止、水圧調整などの水道料金の節約、ゴミ袋の最小利用、スタッフの効率的配置などといった、より細かな経費削減を行った。</p> <p>その一方で、バーベキュー場のホームページを充実させ、情報誌、新聞及びダイレクトメールを活用し、利用者の増大を図っていく必要がある。</p>
<p>設置者（所管課）の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る括的な評価）</p>
<p>利用者数や収支状況を見ると、平成19年度においては、利用者数については前年度対比で1,000人増加し、収入についても約230千円増加している。しかし、支出については前年度対比約3,300千円増加しており、約2,900千円の欠損が生じた。</p> <p>このことは、指定管理者の評価にあるとおり、台風9号による被害が莫大で、その復旧費が欠損額となっている。近年のアウトドアブームにより施設の利用者数は安定しているが、天候等にも大きく左右されるため、収支の状況は不安定なところもある。</p> <p>指定管理者は、6の取組の内容でも分かるように、利用者に対し積極的なサービスを提供し、リピーターとして顧客の確保に努めるなど努力が伺える。また、広告媒体を幅広く活用し、新たな利用者の確保にも努めている。</p> <p>今後も、引き続き積極的なサービスを展開し、従業員教育なども行い、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込むことが重要であると考えている。</p>